



6月4日 **大学進学率向上へ
福島高校公営塾開講**



今後の日程などの説明を受ける生徒たち

他市町村との教育格差の解消や就職・大学進学などの進路実現を目的に、福島高校で公営塾「樹（いつき）スクール」が開講されました。この公営塾は、串間市などで学習塾を経営する河野通博さんら外部講師が指導し、英語に特化した授業を展開。英語検定対策や大学受験のサポートなどを行い、学力向上と進路実現を目指していきます。同日、開講式とオリエンテーションが行われ、同校2、3年生の受講希望者34人が参加。3年生の吉田羽成さんは、「苦手な文法をしっかりと学び、海外の人と話せるように頑張りたい」と今後の意気込みを話していました。1年生は2学期からスタートする予定です。

串間温泉いこいの里で「串間活メぶりプリ丼」の認定証交付式がありました。交付式には、同施設支配人の田熊昭さんが出席され、「ぶり丼」推進協議会会長の立本与司仁さんより認定証の交付を受けました。今回認定されたいこいの里は、同協議会が定める12項目の条件を全てクリアし、6月12日より提供を開始しました。オリジナルの「完熟キンカンたまま塩ダレ」を使用しているのが特徴です。支配人の田熊さんは、「串間のいいところを集めた丼ぶりなので、ぜひ食べに来てほしい」と話していました。

6月11日 **いこいの里
ぶり丼提供開始**



立本さん（右）より認定証を受けた田熊さん（中央）

6月17日 **色彩豊かなアジサイ 満開を迎える**



どんよりとした天気を忘れさせるほどの
明るい色合いで山道を彩ったアジサイ

串間市大平から日南市酒谷をつなぐアジサイロード。串間側の約4キロの道沿いに咲く約3,500株のアジサイが満開となりました。アジサイは、一株一株が色彩豊かであり、また、一つ一つの花びらも違った色合いやグラデーションで通る人たちを魅了していました。地元のボランティアの方々の手入れにより今年も見事な大輪を咲かせたアジサイは、6月中旬に満開を迎え、6月下旬に見ごろを迎えました。

5月27日 **長年の功労への叙勲を
伝達**



市長から勲記と勲章が手渡されました

令和2年春の叙勲において、本市から神戸仁さんが旭日単光章を受章され、市役所で叙勲伝達式が行われました。旭日単光章は国家または公共に対し功労のある方のうち、顕著な功績を挙げた方を対象に贈られます。今回受章された神戸さんは、平成10年から20年間、西今町自治会長を務められ地域活動の推進に貢献されました。また、平成17年から串間市交通安全協会今町支部副部長として、児童生徒の登下校時に見守り活動を行うなど青少年の健全育成にも取り組まれました。神戸さんは、「素晴らしい叙勲をいただいて大変光栄です。今後も登下校時の見守り活動などを行い、地域のために貢献していきたい」と話していました。

5月28日 **超早掘り甘藷出荷へ**

JA串間市大束かんしょ部会所属の折田一広さんが、今年苗植えして育てた超早掘り甘藷の出荷準備作業を行いました。作業は家族ら6人で、コンテナの中に入れられた泥を落とした甘藷のひげ根を1本ずつ手作業で取り除き、機械で大きさを選別した後、箱詰めする流れで行われました。今年の出来合いを折田さんは、「例年以上に重量も増え、自信があります。苗床の全面消毒に加え、新しい種芋を導入したことで、今年もおいしい甘藷ができました。皆さんにぜひ食べてほしい」と話していました。



出荷に向け箱詰めをされる折田さん

5月29日 **スーパーほりぐち
寄付金・マスクを贈呈**



マスクには「がんばろう串間！」の応援メッセージも
添えられていました

串間市内に2店舗、鹿児島県志布志市に1店舗スーパーマーケットを置く有限会社スーパーほりぐちが、新型コロナウイルス感染症予防対策に役立ててほしいと、本市に寄付金100万円とマスク12,000枚を贈呈されました。贈呈式には、同社副社長の堀口一樹さんと課長の堀口直樹さんが出席され、一樹さんから「日ごろよりお世話になっている市民の皆さんのために役立ててもらえれば」とあいさつされた後、市長へ寄付金とマスクを手渡しました。寄付金は今後、同感染症対策などに充て、マスクは市内の教育施設や福祉施設、医療機関などに配布する予定となっています。